

論文目録 (和文)

1 種子学

- 一九〇九 ブラシカ属の種子につきて 農学会々報八六 三一―二八
- 一九〇九 種子の品種研究 農学会々報八八 三一―三七
- 一九二〇 胡蘿蔔の種子に就て 農本一 九一―一三
- 一九二〇 牛蒡の種子に就て 農本一 一三一―一四
- 一九二〇 蒿苣の種子に就て 農本一 一四一―一六
- 一九二〇 紫雲英種子の研究に就て 農本一 二五―二七 殖産一 七―六
- 一九二四 紫雲英の研究 農学会報一四三 一―三〇
- 一九二四 種子検査論 帝国農会報五(八) 一―一(九) 七―一八
- 一九二七 漬菜蕪菁及類似種子品種鑑識に就て 帝国農会報七(五) 一―一八附録
- 一九二七 粃米の後熟及発芽に就て 農学会報一七九 四九八―五五〇
- 一九二七 大根の種子の品種鑑識につきて 帝国農会報八(一二) 附録一―一五
- 一九二〇 農業種子汎論特に其改善に就きて 農学講演集二 一―三二
- 一九二〇 公認採種事業を論ず 帝国農会報一〇(八) 一―六(九) 一―八
- 一九二四 日本に於ける種子の発芽力保有年限 農学会報二六五 七三六―七四九
- 一九二五 生石灰が種子の発芽力保存に及ぼす効果 農学会報二六六―二七一 一―二一
- 一九二五 種子の研究 高知県立農業学校創立三五周年記念校友会報 三三―四七
- 一九二六 種子寿命論 農学研究八 一―七八
- 一九二六 国際種子検査協会並に会議の概況 大日本農会報五四四 六―一六
- 一九二七 種子発芽生理一斑 農学研究一一 一―三八
- 一九二九 日本農業種子の研究 日本学術協会報告五 四二五―四三二
- 一九三一 ローマに於ける万国種子会議 農政研究一〇(四) 一五―三三
- 一九三一 第五回万国種子会議報告並に種子検査国際規程 農学研究一七 二三三―二七八
- 一九三三 (笠原安夫共著) メロン畸形幼植物発生例及び其の原因につきての実験的研究 農学研究二〇 一八五―二一八
- 一九三三 (笠原安夫共著) 椎茸胞子の貯蔵に就きての実験(第一報) 農学研究二〇 二一九―二三〇
- 一九三三※日本農林種子学 前篇 一―四五六 東京養賢堂
- 一九三四※日本農林種子学 後篇(各編) 一―八三五 東京養賢堂
- 一九三四 農林種子に関する軌近の研究 農業及園芸九(二) 四七―五八(二) 四五九―四六七
- 一九三四 (笠原安夫共著) 採種に関する実験的研究 (一) 廿日大根の種子の熟度と生産力との関係 農学研究二二 一一―一四一
- 一九三四 (笠原安夫共著) 採種に関する実験的研究 (二) 牛蒡の種子の熟度と生育並に抽莖との関係 農学研究二二 一四二―一五五
- 一九三四 (笠原安夫共著) 椎茸胞子の貯蔵に就きての実験(第二報) 農学研究二二 一五六―一六七

- 一九三四 (笠原安夫共著) 粟黍稷及び近縁植物の穎の灰像比較 農業及園芸九(七)、一四七五—一四八七 農学研究
二二 一九九—二四二
- 一九三五 (笠原安夫 寺坂侑視共著) 雑草種実の研究(第一報) 禾本科(一) 農学研究二四 九五—一一一 植物及動物
三(一) 二二三—二四五
- 一九三五 (笠原安夫 寺坂侑視共著) 莎草科雑草種実の研究例 農業及園芸一〇(五) 一一四七—一二五八
- 一九三六※日本農林種子学 前編増補訂正 一—五〇九 東京養賢堂
- 一九三六 (一色重夫共著) 種子の吸収力に関する実験 (一)紫雲英種子の吸収力と早、中、晩種並に收量との関係 農学
研究二六 一九三—二〇〇
- 一九三六 (一色重夫共著) 種子の吸収力に関する実験 (二)小麦の吸収力と生産力との関係 農学研究二六 二〇—二二
一一
- 一九三七 (高橋隆平共著) 晩近の種子学一般 實際園芸二二(五) 六二〇—六二四 (六) 七五一—七五五
- 一九三八 種子の國際的研究 農業及園芸一三(六) 一四一九—一四二六 (七) 一六三一—一六三八 (八) 一八四五
一—一八五〇 (九) 二〇三九—二〇四六
- 一九三八 (高橋隆平共著) フェノール着色法による小麦の品種鑑識(第一報) 農学研究三〇 三九—六八
- 一九三八 雑草種実の研究(第二報) 千本科(一) 農学研究二九 四五—六一
- 一九三八 (笠原安夫 寺坂侑視共著) 雑草種実の研究(第三報) 莎草科(一) 農学研究二九 六二—八二
- 一九三八 (高橋隆平共著) 石炭酸着色法による小麦の品種鑑識に就て。農業六九七 一一—一〇
- 一九三九 (寺坂侑視、笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第四報) 雑の部(一) 農学研究三一 二三—二六八
- 一九三九 (笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第五報) 千本科(二) 農学研究三一 二六—二八九
- 一九三九 (笠原安夫共著) 石炭酸着色法による大麦の品種鑑識 農業七〇三 一一—三
- 一九三九 (笠原安夫共著) 石炭酸着色に依る小麦及大麦の品種鑑識、着色の原因並にバラクレゾール、ベンチデンの着
色反応について 農業七〇八 七一—二〇
- 一九三九 (笠原安夫共著) 小麦及び大麦のフェノール着色による品種鑑識に就きて 附バラクレゾール、ベンチデン等
による着色反応 日本作物学紀事一一(一) 二三〇—二五二
- 一九三九 (笠原安夫共著) フェノール着色と大麦の品種鑑識。農学研究三一 八九—九九
- 一九三九 (笠原安夫共著) フェノール着色法による小麦の品種鑑識(第二報) 農学研究三一 一〇〇—一二〇
- 一九三九 (笠原安夫共著) 小麦大麦のフェノール着色の原因並にバラクレゾール、ベンチデン等の着色反応に就きて
農学研究三一 二二—一七六
- 一九四〇 (笠原安夫共著) 石炭酸フクシンに依る玄米の品種鑑別 糧食研究一六七 二—二一
- 一九四〇 (笠原安夫共著) 石炭酸フクシンによる玄米の品種鑑識に就きて 日本作物学会紀事一一(二) 一二—一二八
- 一九四一 (笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第六報) 菊科(一) 農学研究三二 三二—三三八
- 一九四一 (笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第七報) 蓼科(一) 農学研究三二 三三—三五六
- 一九四一 (笠原安夫共著) 雑草種子の発芽の研究(一) 特に発芽に及ぼす光線及び変温の影響に就きて 農学研究三二
三五—三九七
- 一九四一 (笠原安夫共著) 雑草種子の発芽の研究(二) 種子の後熟並に変温と発芽との関係 農学研究三二 三九—
四〇八
- 一九四一 (笠原安夫共著) 化学薬品を用いて米の品種鑑別法の発見 科学画報三〇(一) 一一八—一二六

- 一九四一 (笠原安夫共著) 白米のアルカリ検査 糧食研究一七四 二一二
- 一九四一 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第一報 第二報) 石炭酸フクシンによる玄米の品種鑑識(一) 農学研究三二二 一一二七
- 一九四一 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第三報) 米のアルカリ検定 農学研究三二二 二八―四八
- 一九四一 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第四報) 玄米の沃度検定 農学研究三二二 四九―六二
- 一九四一 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 林木種子の貯蔵試験(第一報) 穀斗科種子 農学研究三二二 二八三―三〇三
- 一九四〇―四一 (笠原安夫共著) 種子の一〇ヶ年貯蔵の例 塩化石灰添加による貯蔵 農学研究三二二 三〇四―三一〇
日本作物学会紀事二二(一) 二二―二四
- 一九四一 (笠原安夫共著) 米の品種の化学的鑑別法 教育農芸一〇(五) 四五七―四六六(六) 五八三―五九三
- 一九四二 (笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第八報) 苳科(一) 農学研究三四 四六一―四七八
- 一九四二 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第五報) フェノール及びバラクレゾール染色法 農学研究三三三 九二
- 一九四二 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第六報) 全国各府県道州奨励品種の特性調査 農学研究三三三 一一一
一六〇
- 一九四二 (笠原安夫共著) 米の品種鑑識の研究(第七報) 白米のアルカリ検定に就きて 農学研究三三三 一六一―一九六
- 一九四二 (笠原安夫共著) チロシンによる小麦の品種鑑識 フェノール法との比較 農学研究三四 一六七―一八七
- 一九四二 (笠原安夫 海野元太郎共著) 米の品種鑑識の研究(第八報) 米の品種間のアルカリ反応差異と飯及び糊の粘度・pH・食味等との關係に就きて 農学研究三四 一一三―一二二
- 一九四二 (笠原安夫共著) フェノール着色法による小麦の品種鑑識(第三報) 農学研究三四 一五七―一六六
- 一九四三 種苗管理の急務を提唱す 日本園芸雑誌一五(二) 一一七
- 一九四四 (笠原安夫共著) 雑草種実の研究(第九報) 石竹科 農学研究三六 一二八―一三三八
- 一九四四 農林種子に関する晩近の研究(第二報) 農業及園芸一九(一) 三一八 (三) 二七九―二八四(四) 三八
七一―三九〇
- 一九四四 (笠原安夫共著) 林木種子の貯蔵試験(第二報) 杉檜の種子に就て 農学研究三六 四九七―五二〇
- 一九四四 (笠原安夫共著) 林木種子の貯蔵試験(第三報) 再び穀斗科種子に就きて 農学研究三六 五二一―五三六
- 一九四四 種子と種子検査 農業及園芸一九(六) 六一九―六二四
- 一九四四 農林種子に関する晩近の研究(第三報) 農業及園芸一九(七) 六四七―六五〇(八) 七三二―七三六(九)
七九九―八〇六
- 一九四六 新日本の農業と種子の改善 農業及園芸二二(一) 三一六
- 一九四六 種子講話 農耕文化一(三) 三六一―三八(四) 二七―二八(五) 三二―三六(六) 三三―三四(九) 三四―三五
(一〇) 三二―三三
- 一九四六 (笠原安夫 秋田史郎共著) 一九年間貯蔵せる大麻種子の発芽及び其植物の生育に就いて 種苗通報一一三
一五
- 一九四六 種苗改良への途 農業日本一(二) 三〇―三二
- 一九四六 種子の検査 農業技術一(三) 五七

2 貯

藏

- 一九二二 (武田元温共著) 俵米貯藏中に於ける米質の変化 大日本農會報五〇二特別号 七九—一〇三
- 一九二二 (武田元温共著) 俵米の温度に就きて 糧食研究一九
- 一九二三 (武田元温共著) 米穀貯藏中に於ける米の水分含量の変遷に就きて 糧食研究二〇
- 一九二三 (武田元温共著) 米穀貯藏中に於ける米の吸水能及吸水膨脹能の変遷に就きて 糧食研究二一
- 一九二三 米穀貯藏に関する研究 農學講演集五 一一—二五
- 一九二五 (武田元温共著) 米穀貯藏に関する研究特に貯藏中に於ける物理学的米質の変化に就きて 大原農業研究所特別報告二 一一—三〇三

- 一九二五 種子の貯藏と乾燥剤 農學會報二四七 二二—二三
- 一九二七 米穀の乾燥並に密封と穀象の繁殖及び米の蝕害 糧食研究四四 一一—一〇
- 一九二七 米穀貯藏問題 農家の友三五九 一九—二八
- 一九二七 米穀貯藏問題 農政研究六(八) 二七—三七 大日本米穀會々報一八四 一一—二二
- 一九二七 米穀貯藏に就きての研究 日本學術協會報告三 二九六—三〇六
- 一九二七 米穀貯藏問題 農業倉庫週報 三二—一三三 三三四 三三一
- 一九二九 (岡村保共著) 密封貯藏玄米の分析並にウイタミンB含有量に就きて 農學會報三一八 一八三—二〇五
- 一九二九 (岡村保共著) 米穀の密封貯藏と米の水分含量並びに貯藏温度との關係 日本作物學會記事一(四) 五八—六

三

- 一九二九 (岡村保共著) 玄米貯藏中の温度並に玄米の水分含量と玄米の発芽力保存との關係に就きて(一) 農學研究一 一七三—一九三 一九四—二二五
- 一九三〇—三一 (岡村保共著) 米穀の密封貯藏の效果に就きて 大日本農會報五九〇 五一—二 五九一 一一—一 陸軍主計団記事二五二 五一—五八 二五三 七二—八一
- 一九三〇 (岡村保共著) 粳米貯藏に関する今摺米の乾燥研究 農學研究 一四 三五五—四三一
- 一九三〇 (岡村保共著) 粳米貯藏に関する今摺米の乾燥に就きて 農業及園芸五(一) 三一—四
- 一九三〇 (岡村保共著) 米穀密封貯藏研究 農學研究一六 一一—八六
- 一九三〇 米穀密封貯藏研究 鳥取農學會報二(二) 一八八—一九三
- 一九三一 米穀貯藏に関する研究 大日本米穀會第二五周年記念論文集 四七一—六二
- 一九三一—三二 (岡村保共著) 温度並に米の乾燥度と米粒間隙の湿度との關係に就きて(第一報) 日本作物學會記事三(二) 一六〇—一七〇 農學研究一七 六五—七五 (第二報) 農學研究一八 一四四—一六〇
- 一九三一—三二 (岡村保共著) 俵裝貯藏米の物理的並に生化学的研究一例 日本作物學會記事三(四) 三四七—三六四 農學研究一八 一一—四六
- 一九三二 (一色重夫 笠原安夫共著) 米穀並に倉庫の乾燥と除水量 農學研究一八 一二五—一四三
- 一九三二 (岡村保共著) 明治三七年並に三九年産密封貯藏玄米に就きて 日本作物學會記事四(二) 一五八—一六九
- 一九三二 (岡村保共著) 玄米の日照乾燥に就きて 農學研究一九 一二八—一四二

- 一九三二 (岡村保共著) 明治三十七年並に三十九年産密封貯藏米の研究 農学研究一九 一〇七—一二七
- 一九三三 (岡村保共著) 俵米貯藏中に於て肌擦が米の物理的性質の変化に及ぼす影響 農学研究二〇 六四—九二
- 一九三三 (岡村保共著) 密封貯藏米の水分と米質の生化学的变化との關係に就きて (詳報) 農学研究二〇 一—六三
- 一九三三 (岡村保共著) 秋田感恩講並に山口県勝間田家貯藏の古籾米の研究 農学研究二一 一—三二
- 一九三三 米穀貯藏問題 日本学術協会報告八(四)、六九〇—六九七
- 一九三四 (岡村保共著) 玄米を缶に入れ乾燥剤を添加したる貯藏試験特に乾燥不良米に就きて 農業六三八 一四—二一
- 一 農学研究二二 三二—四二
- 一九三四 (岡村保共著) 二三年間山地に貯えられたる糯に就きて 糧食研究九一 八〇七—八一 農学研究二二 四三—四八
- 一九三四 (岡村保共著) 米穀のサイロ貯藏の実験 日本作物学会記事六(二) 二二—二三〇 農学研究二三 一四—九一六八
- 一九三四 米作豊凶と米穀貯藏の問題 農業と經濟一(八) 五六—六九
- 一九三四—三五 米穀貯藏の史的考察 糧食研究一〇〇 一四五—一四六三 連帯時報一五(一) 二—二二
- 一九三五※米穀の貯藏 一—二〇七 東京養賢堂
- 一九三五 籾米貯藏と玄米貯藏との比較 教育農芸四(二) 二〇七—二一四
- 一九三五 (一色重夫共著) 貯藏米穀の乾燥用として生石灰、塩化石灰及び其他の価値比較 農学研究二四 三七—六二
- 一九三五 (岡村保共著) 玄米を缶に入れ乾燥剤を添加したる貯藏試験 (一)特に塩化石灰の吸収状況に就きて 農学研究二四 六三—七二
- 一九三六 (岡村保共著) 籾米貯藏と玄米貯藏との米質変化の比較(一) 農学研究二六 四六—五三
- 一九三七 昭和五年の産米を十年末迄五ヶ年間サイロに貯藏したる試験 米穀日本三(一) 二—二一
- 一九三七 小麦の貯藏に關する研究綜説 農業及園芸二(一) 四—一四八(二) 五八—五九八(三) 八四—八五三
- 一九三七 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 玄米の火力乾燥試験(一) 農学研究二七 一九五—二二三
- 一九三六—三七 (寺坂侑視共著) 玄米を缶に入れ乾燥剤を添加したる貯藏試験(三) 生石灰と塩化石灰との実用的価値比較 農学研究二七 二二—四二二三 日本作物学会記事八(二) 二九—三〇〇
- 一九三七 (岡村保共著) 米穀のサイロ貯藏の実験(第二報) 農学研究二七 二二—四二二四
- 一九三七 (岡村保共著) 乾燥不良米の貯藏と温度との關係 農学研究二七 二四—二七五
- 一九三七 (岡村保共著) 籾米貯藏と玄米貯藏との米質変化の比較(一) 農学研究二七 二七—二八二
- 一九三七 (岡村保共著) 佐賀県に於て約百年間貯藏せられたりと伝うる古籾米の研究 農学研究二七 二八—二九二
- 一九三七 穀物貯藏特に密封貯藏後に就きて 糧食研究二二 二—二一
- 一九三七 玄米の乾燥方法特に火力乾燥に就て 米穀日本三(二〇) 二—一七
- 一九三七 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 玄米の火力乾燥試験(三)附籾米の乾燥試験 農学研究二八 四八—八四
- 一九三八 穀物貯藏の要件に就きて 米穀二九八 二—六 二九九 二—七
- 一九三八 乾燥不良米の貯藏と温度との關係特に低温貯藏に就きて 米穀日本四(三) 二—一九
- 一九三九 米穀貯藏と古米の糧食価値 糧友一四(一〇) 一一—四—二二
- 一九三九 玄米白米七分搗米の比較貯藏並缶、俵装、防湿紙袋等の貯藏効果の試験 食糧經濟五(一一) 二—二一
- 一九三九 白米及び七分搗米の貯藏並缶、俵装、防湿紙袋等の貯藏効果に關する試験 農学研究三一 一一—三四

一九三九 (中沢敏共著) 貯蔵小麦の水分含量及び貯蔵温度が小麦の品質に及ぼす影響 (第一報) 農学研究三一 三五—五二

一九三九 貯蔵小麦の水分含量及び貯蔵温度が小麦の品質に及ぼす影響 (第二報) 農学研究三一 五三—七〇

一九三九 小麦の防湿紙袋貯蔵試験 (第一報) 農学研究三一 七一—八八

一九三九 乾燥不良米の五ヶ年半の低温貯蔵に就きて 農学研究三一 一三三—一三七

一九四〇 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 玄米を缶に入れて乾燥剤を添加したる貯蔵試験 農業及園芸一五 (一) 九—一三

一九四〇 戦時下の米穀貯蔵問題と古米の糧食的価値 糧食研究一六四 一八—二八

一九四〇 時局対策と穀物貯蔵 農業及園芸一五 (一) 二四—二四五

一九四〇 乾燥不良米を火力乾燥したる後サイロに四ヶ年余貯蔵したる試験 食糧経済六 (二〇) 一六—二九

一九四一 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 玄米を缶に入れ乾燥剤を添加したる貯蔵試験 四乾燥不良米に生石灰を添加して三ヶ年半貯蔵 農学研究三一 六三—七七

一九四一 (寺坂侑視共著) 玄米を缶に入れ乾燥剤を添加したる貯蔵試験 (五) 乾燥普通なる米の二ヶ年貯蔵 農学研究三一 二七一—二七七

一九四一 (一色重夫 寺坂侑視共著) 食塩添加が米穀貯蔵に及ぼす影響 農学研究三一 七八—九四

一九四一 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 米穀のサイロ貯蔵の実験 (第三報) 乾燥不良米を火力乾燥したる後四ヶ年余貯蔵 農学研究三一 九五—一一三

一九四一 (寺坂侑視共著) 冬季に於ける米の日照乾燥とその効率 農学研究三一 一二四—一三五

一九四一 小麦の防湿紙袋試験 (第二報) 附玄米の紙袋試験 農学研究三一 一四六—一五五

一九四一 米穀のサイロ貯蔵に就て 農業と経済八 (三) 二—一四

一九四一 米の増産と乾燥調整 富民一三 (一〇) 三〇—三一

一九四二 (寺坂侑視共著) 米穀の低温長期貯蔵試験 農学研究三一 一九七—二〇七

一九四二 (笠原安夫共著) 米穀の一三ヶ年貯蔵と水分含量との関係 食糧経済八 (九) 六一—七〇

一九四三 穀物の性状並に貯蔵保管に就きて 満洲農産公社発行

一九四三 穀物の貯蔵に就いて 大陸科学院彙報七 (二) 二〇五—二〇七

一九四三 (笠原安夫共著) 米穀の一三ヶ年貯蔵とその水分含量との関係 農学研究三五 二八—三八

一九四三 (岡彦一共著) 小麦の防湿紙袋貯蔵試験 (第三報) 農学研究三五 三九—五四

一九四三 (岡彦一共著) 小麦粉の貯蔵試験 農学研究三五 五五—六四

一九四三 (岡彦一共著) 貯蔵小麦の水分含量及び貯蔵温度が小麦の品質に及ぼす影響 (第五報) 農学研究三五 六五—八二

一九四三 満洲糧穀の貯蔵保管問題 食糧経済九 (七) 二三—三四 (八) 二二—二八

一九四三 南方の米穀貯蔵 科学知識二三 (七) 四三

一九四三 満洲糧穀問題解説 糧食研究二〇六 一—一〇

一九四三 北支の糧穀問題検討 食糧経済九 (二〇) 一八—三五

一九四四 (貝原弘道共著) 小麦の密封貯蔵試験 (続報) サイロ並に缶貯蔵の結果 農学研究三六 一八八—一九七

一九四四 (貝原弘道共著) 米穀のサイロ貯蔵の実験 (第四報) 七ヶ年の貯蔵 貯蔵失敗の例 農学研究三六 一九八—二〇八

- 一九四四 (水田鉄雄共著) 玄米の保米袋貯蔵試験に就きて 農学研究三六 五三七—五四六
- 一九四六 穀物貯蔵の歴史及意義 村の農政八(九) 一六一—一八
- 一九四七 (等原安夫 秋田史郎共著) 一五ヶ年密封貯蔵玄米の性状調査 農学研究三七(一) 一
- 一九四七 (貝原弘道 山本二郎共著) 津山氏末沢氏貯蔵の明治三年産古糯粳の研究 農学研究三七(二) 二—四
- 一九四七 (等原安夫 秋田四郎共著) 米穀の低温長期貯蔵試験(一) 一ヶ年貯蔵 農学研究三七(一) 三八—四〇
- 一九四八 (貝原弘道共著) 玉蜀黍、裸麦、小麦及び玄米の貯蔵力の比較に就て 農学研究三七(三) 三一—三三

3 穀物の性状

- 一九〇七 澱粉の物理学的性質 農業世界二(九)
- 一九〇八 醬油の物理学的性質 理学界五(一〇) 二二—二四
- 一九〇八 澱粉糊に就きて 農業国二(一二)
- 一九一五 玄米の容積重に就きて 農学会報一五三 三三—三四七
- 一九一六 (鴛海文彦共著) 粳米並に玄米の乾湿とその容積重との關係に就て 農学会報一六八 五〇四—五三一 日本醸造協会雜誌 一一(九) 七一—九(一〇) 一一—二三
- 一九一七—一八 玄米品質論 大日本農會報四二七 一五—二六 農學講演集一 一二—二三
- 一九一七—一八 米の糠層の厚さに就きて 帝國農會報七(二二) 附録三七—九〇 農学会報一八五 七〇—九〇
- 一九二六 (岡村保共著) 茶米に就きての研究 農学会報二八七 四一—四二九
- 一九二七 (岡村保共著) 玄米と粳米との理学的性質の比較研究 (一) 玄米粳米及粳穀の吸湿力の比較 農学会報二九七 三四—三六三
- 一九二八 (岡村保共著) 玄米と粳米との理学的性質の比較研究 (二) 玄米粳米及粳穀の乾燥の比較 農学会報三〇四 七一—九二
- 一九二八 (岡村保共著) 玄米と粳米との理学的性質の比較研究 (三) 乾燥に伴う玄米粳米の剛度の変化の比較 農学会報三〇六 一六七—一七六
- 一九二九 (岡村保共著) 茶米の生成に就きて 日本作物学会記事一(五) 五一—一三
- 一九三〇 (岡村保共著) 青米に就きての研究 農学会報三三二 一一—一五 農学研究二五 三三—五三
- 一九三〇 (岡村保共著) 吸湿に因る胴割米の成生に就きての実験的研究 農学研究一五 一一—三一 日本作物学会記事二(一二) 七三—八九
- 一九三〇 (岡村保 久宗壯 奥山清一共著) 生粳米乾燥粳米並に玄米の数量的相互關係 農学研究一五 五四—九四
- 一九三〇 (岡村保共著) 玄米と粳米との理学的性質の比較研究 四粳米玄米及粳穀の量的性質の相互關係 農業及園芸五(一〇) 一三〇—一三一八
- 一九三一 米穀の性状と貯蔵 朝鮮農會刊行物 一一—一〇六
- 一九三一 (岡村保共著) 青米に就きての研究(第二報) 農学会報三三七 六七—七八 農学研究一七 七七—九二
- 一九三一 (岡村保共著) 青米の褪色に就きて(要旨) 日本作物学会記事三(一二) 一七一
- 一九三二 (岡村保共著) 米の乾湿とビタミンBの含量 大日本農會報六一四 六一—一〇
- 一九三二 (岡村保共著) 乾燥度と異にせる玄米中のビタミンB含量に就て 農学研究一八 四七—六三
- 一九三二 (岡村保共著) 玄米の発芽力とビタミンBとの關係 農学研究一八 六四—七八

- 一九三一—三二 米穀の性状並に貯蔵 愛知県農会夏季大学講演筆記 一—七九
- 一九三二 (岡村保共著) 玄米が吸湿せし時の膨脹の方向と胴害米成生との関係 農学研究一九 一四三—一五二 日本作物学会記事四(三) 一七五—一八九
- 一九三二 米穀の性状に就きて 大日本農会報六二三 一—一九 日本作物学会記事四(二) 一三—二一
- 一九三三—三四 (岡村保共著) 温度の高低と米の剛度との関係 農業及園芸八(一一) 二五〇—二五〇九 農学研究二二 六一—六五
- 一九三三—三四 (岡村保共著) 温度特に冷凍と米穀の乾燥との関係 農業及園芸八(一二) 二七三—二七四六 農学研究二二 四九—六〇
- 一九三五 (一色重夫 寺坂侑視共著) 玄米の火力乾燥試験(一) 農学研究二五 三六四—三八三
- 一九三五 米穀の性状並に貯蔵 朝鮮総督府穀物検査所刊行物 一—一五三
- 一九三六 小麦の性状に関する研究綜説 農業及園芸一一(三) 七四—一七五〇 (四) 一〇〇四—一〇一〇 (五) 一二三—一二二〇
- 一九三七 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 大麦小麦大豆蠶蠶等農産種実の等級検査に就きて(第一報) 農学研究二七 八九—一二五
- 一九三九 大麦小麦蠶蠶等農産種実の等級検査に就きて(第二報) 農学研究三一 一八六—二三一
- 一九三九※穀物講義 一一二〇七 東京養賢堂
- 一九四〇 再び農産種実の等級検査に就きて 教育農芸九(四) 一一九 (五) 七—三三 (七) 一二—一九 (八) 九—一七
- 一九四一 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 早害米の品質につきての研究(第一報) 農学研究三二 五〇四—五二四
- 一九四二 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 早害米の品質につきての研究(第二報) 農学研究三三 二二五—四九
- 一九四二 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 冬季に於ける米の日照乾燥とその効率 (一)特に容積重並に剛度に就きて 農学研究三三 三二六—三四五
- 一九四二 米穀問題に就きて 台湾農会報四(二) 六四—七九
- 一九四二 (海野元太郎共著) 微米に関する研究(第一報) 農学研究三四 三三—五五
- 一九四三 異変米四種の研究 農業及園芸一八(一) 一一四(二) 一四五—一四八(三) 二六九—二七五
- 一九四三 米穀に就きて 台湾総督府糧業試験所創立一〇周年記念講演集 一〇—一二三
- 一九四三 (海野元太郎 渡辺行弘共著) 冷害米の品質に関する研究 農学研究三五 一一—四
- 一九四三 (海野元太郎 渡辺行弘共著) 浸水腐敗米に関する研究 農学研究三五 一五—二七
- 一九四四 (海野元太郎共著) 小麦の性状と検査等級との関係に就て 農学研究三六 一六七—一八七
- 一九四四 (海野元太郎共著) 米の食味試験(一) 農学研究三六 二〇九—二二七

4 育 種 遺 伝

- 一九〇—一一 果樹苗木の品種研究 農学会報一〇〇 九—一二 一〇三 三七—五〇
- 一九一四 作物改良の方針 農業世界九(八) 六一—六九
- 一九一六 品種改良上より見たる朝鮮の農作物 朝鮮農会報一一(一) 四〇—四二
- 一九一八 作物育種に就いて 広島県立西条農学校校友会誌 一—九
- 一九一九 我が種苗政策特に米麦品種改良問題に就きて 帝国農会報九(三) 一—九

- 一九二二 作物育種汎論 農學講演集四 一一三七
 一九二二 (野口保橋共著) 米麦母本の数量的特性と次代植物の数量的特性との相互關係に就きて 農學會報二四二
 四七一—九六二
 一九二三 (小野真盛共著) 不稔稻の一例につきて 農學會報二五〇 五八九—五九八
 一九二五 (武田元温 藤本隅太共著) 縞稻の研究 農學會報二七七 四三三—四六二
 一九二六 大麻の雌雄と種子の大小形狀重量及比重との關係 農學會報二八三 二三三—二五七
 一九二七 (藤本隅太共著) 不稔稻の系統栽培の結果に就きての考察 農業及園芸二(五) 四七三—四八六(六) 五八
 五一五九六(七)七〇七—七一四
 一九二七 (藤本隅太共著) 不稔稻のベヂグリー栽培の結果に就きて 農學研究一〇 四五—六九
 一九二七 (藤本隅太共著) 畸形稻の一例『曲玉稻』に就きて 大日本農會報五五八 一一五
 一九二七 水稻の芒の遺伝実験 農學研究一一 九八一—一八
 一九二七 蘭の育種方法に就きての実験 農學研究一一 七三—九七
 一九二七 (藤本隅太共著) 畸形稻の一例曲玉稻及類似稻につきて 農學研究一一 一六九—一八〇
 一九三二 (岡村保 一色重夫 笠原安夫共著) 稻のフォトベリオヂズムに関する実験的研究(第一報) 農學研究一八
 一六一—一二二五 日本作物學會記事四(一) 二五—四四
 一九三二 フォトベリオヂズムに就きての考察 農業及園芸七(一〇) 一八三五—一八四六(一一) 二〇四—二〇五一
 一九三三 (一色重夫共著) 畸形稻二種の出現並に其遺伝に就きて 農學研究二〇 一三五—一五三
 一九三三 (一色重夫共著) 体菜の育種に於ける變化物の出現及びその遺伝に就きて 農學研究二〇 一五五—一八三
 一九三三 (笠原安夫共著) 不稔稻系統に出現せし枯死淡黄苗に就きて 農學研究二二 七五—九四
 一九三三 (一色重夫共著) 水稻品種の圃場收量試験に就きての考察(一) 農學研究二二 九五—一三三
 一九三三—三四 (岡村保、一色重夫 笠原安夫共著) 稻のフォトベリオヂズムに関する実験的研究(第二報) 日本作物
 學會記事五(四) 三六九—三七九 農學研究二二 一一—三一
 一九三四 (一色重夫共著) 水稻品種の圃場收量試験に就きての考察 (一)試験年数に就きて 農學研究二二 八五—九〇
 一九三四 (一色重夫共著) 無胚米並に多胚米の出現 性状及び遺伝に就きて 農學研究二二 六六—八四
 一九三四 (一色重夫共著) 採種地を異にせる粳種子の生産力試験 *Klimawechsel* が粳種子に及ぼす影響 農學研究二
 三 一六九—一九八
 一九三五 遺伝と進化 邑久高等女學校校友嫩業會誌 わか葉二二 二—一八
 一九三五 科學の進歩と作物の改良増産 農業教育時報五(一一) 四—四八 (一二) 三九—四七
 一九三五 (一色重夫共著) 水稻品種の圃場試験に就きての考察 (三)各府県の多收穫品種試験 農學研究二五 三八—四
 四〇九
 一九三五 (一色重夫共著) 水稻品種の圃場試験に就きての考察 四品種混作試験 附大麦に就きて 農學研究二五 四
 一〇—四二二
 一九三六 (一色重夫 寺坂侑視共著) 小麦の穗発芽現象に就きて(第一報) 農業及園芸一一(二) 四八九—四九六 農
 學研究二六 二二—二三〇
 一九三六 (笠原安夫、一色重夫共著) 一七、八年間水中にありし紫雲英硬実の次世代の種子に就きて 農學研究二六
 二二—二三〇

- 一九三七—三八 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 小麦の穂発芽現象に就きて (第二報) 農学研究二八 八五一—一〇三 農業及園芸二三 (二) 五一—五二〇
- 一九三八 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 小麦のヤロビゼーションに関する試験 農学研究三〇 一一三八
- 一九三八—三九 (高橋隆平共著) 小麦の穂発芽現象に就きて (第三報) 農学研究三〇 六九—八六 農業及園芸一四 (一) 三—一
- 一九三九 小麦のヤロビゼーションの実用的価値 教育農芸八 (二) 七一—一四 (三) 一〇—一七 (三) 五一—九
- 一九四一 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 稲のフォトペリオヂズムに関する実験的研究 農業及園芸一六 (七) 一一六—九
一一七—九
- 一九四二 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 稲のフォトペリオヂズムに関する実験的研究 (第三報) 特に誘蛾燈に就きて 農学研究三三 一一—二四
- 一九四二 (海野元太郎共著) 水稻のフォトペリオヂズムに関する実験的研究 (第四報) 特に青色電燈光線に就きて 農学研究三四 五六—六八 日本作物学会記事一四 (二) 一二—二八
- 一九四三 (笠原安夫共著) 小麦の穂発芽現象に就きて (第四報) 穂発芽と発芽抑制物質 農学研究三五 一三〇—一四
六 農業及園芸一八 (六) 六〇—一六〇四 (七) 七〇七—七〇九
- 一九四三 小麦の穂発芽現象 科学知識二三 (一) 一三五

5 作物学 栽培一般

- 一九一五 紫雲英に就きて 農業国九 (五一—九)
- 一九一八 苗代に於ける籾種の発芽に就きて 大日本農会報四四〇 一一—一六 四四—一 五一—一八 農学会報一八八 三
四四—三七七
- 一九二二 (池上松平共著) 苗代の温度の研究 農学会報二二三 二三七—二七六 大日本農会報四七八 一〇—二二
四八〇 六一—一六 四八一 一一—九
- 一九二二 籾種の浸水期間に就きて 大日本農会報四七九 一一—九
- 一九二二 籾種の発芽生育並に苗に就きての研究 大日本農会報特別号四八七 二九—四六
- 一九二二 苗代に於ける籾種の発芽及生育 農家之友 二二二 九六—九七
- 一九二二 苗代に於ける籾種の発芽及生育に就きての研究 農学会報二四〇 七九—一八六—二
- 一九二四 稲に就きての研究 農学研究六 一一—六八
- 一九二四 ジャバの稲作 日本農業雑誌 (一一)
- 一九二六 植物生理学 農家の友三四七 七三—八二 三四八 八六—九八 三四九 六二—七四
- 一九二六 熱帯の作物 農学研究九 一三三—一八三
- 一九三〇 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第一報) 農学研究一五 九五—一二〇 日本作物学会記事二 (二)
九〇—九五 米穀二二〇 一一—二二 二二—三三
- 一九三〇 稲と米とに就きて 第一回農業夏季大学講演集抜萃 四一—七四
- 一九三一 稲及米に就き御前御進講を奉仕して 大日本農会報六〇四 一一—八
- 一九三一 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第二報) (要旨) 日本作物学会記事三 (一) 四七—五〇
- 一九三一 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第二報) 農業及園芸六 (四) 五一—七五—三〇 農学研究 一七

三七—六三

- 一九三一 稲の植物生理学的研究に就きて 大日本農会報六〇七 三九—四九
 一九三二 (岡村保共著) 水温が浸水稻の生育に及ぼす影響 (要旨) 日本作物学会記事四 (二) 八〇—八七
 一九三二 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第三報) 水温が浸水稻の生育に及ぼす影響 農学研究一九 一一—〇五

- 一九三三 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第四報) 浸水による穀收量上の被害 農学研究二一 三三—五八
 一九三三 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第五報) 清水と濁水とが稲の生育に及ぼす差異 農学研究二一 五九—六四

- 一九三三 (岡村保共著) 水温と稲の生育との関係 (第六報) 浸水稻の枯死する原因 農学研究二一 六五—七四
 一九三七 農業生産に於ける技術の貢献 富民協会創立十周年記念 昭和農業発達史 一九四—二二二
 一九三八 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 稲の短期栽培としての晩化法 農学研究二九 八三—一〇七
 一九三八 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 稲田の落水期と米穀の收量並に品質との関係に就きて (予報) 農学研究三〇 八七—一〇

- 一九三九 稲の短期栽培としての晩化法 (続) 農学研究三一 一七—一八五
 一九三九 農学新研究展望 科学知識一九 (二) 二四—二五 一 (二) 一五四—一五七
 一九四〇—四一 米穀の増産及び貯蔵に関する技術的検討 農業及園芸一五 (一〇) 二〇二—二〇三 一 (一) 二〇九—二一四 (二) 二四〇—二四一 一六 (一) 五一—五六

- 一九四〇 早魃時に於ける稲作の水の経済 帝国農会報三〇 (一〇) 一八三—一九二
 一九四一 (寺坂侑視共著) 稲の短期栽培としての晩化法 (三) 農学研究三一 一三六—一四五
 一九四二 (寺坂侑視共著) 早害対策試験 (一) 早魃時の稲作 農学研究三三 五〇—六四
 一九四二 (寺坂侑視共著) 稲の短期栽培としての晩化法 四農学研究三三 六五—九一
 一九四二 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第一報) 従来の研究の概要 農学研究三三 三六—四一〇
 一九四二 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第二報) 農学研究三四 一八—二七二
 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第三報) 苗代の除草に就きて 農学研究三五 二九〇—二九七
 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第四報) 水稻の除草に就きて 農学研究三五 二九八—三一九
 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第五報) 小麦畑の除草に就きて 農学研究三五 三二〇—三四二
 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第六報) 再び小麦畑の除草に就きて 農学研究三五 三四三—三四四

- 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第七報) 敷地の除草に就きて 農学研究三五 三六五—三七四
 一九四三 (笠原安夫共著) 薬剤による雑草の駆除試験 (第八報) ノビエ、アオビエ、ヌマダイコン、タカサブロウの四種に就きて 農学研究三五 三七五—三八六

- 一九四三 穀物の増産と品質改善に就て 白楊農誌四 (四) 一二五—一二九
 一九四三 北支蒙疆の作物に就きて 華北産業科学研究所調査報告二五 一一—五五
 一九四四 水稻旱害対策検討 農業と経済一一 (六) 二一—四

6 雑

- 一九〇八 (稲垣 乙丙共著) 緑球寒暖計につきての実験 科学世界一 (二) 四—四三 (三) 六五—六七

- 一九〇九 農業經濟機関としての米券倉庫業 中央農事報一二 六一—四
 一九〇九 九州に於ける小作人保護施設調査 中央農事報一二 七一—二 一二四 三一—八
 一九〇九 熊本県八代郡築新地調査 耕地整理研究会報 三 二八—三二
 一九〇九 栃木県農業経営法共進会審査報告 審査余論 二二—六二
 一九〇九 栃木県下自作農業經濟 農業国三(一二)
 一九〇九 鹿児島県報効農事組合 農業国三(二〇—二二)
 一九一〇 東北地方に於ける小作人狀態 農業国四(七一—八)
 一九一〇 永小作論 農業国四(九—一〇)
 一九一〇 千年信用組合 農業国四(一)
 一九一四 独逸に於ける農業女学校 農業国八(六)
 一九一四 欧米に於ける管易農学校 農業国八(四)
 一九一四 瑞西の農業協會と其農民秘書部 帝國農會報四(六) 三八—四一 (七) 三一—三五
 一九二四 農業振興と資本的農業 農政研究三(九) 一三一—一六
 一九二五 濠洲農業視察記 農政研究四(四) 八三—九一(五) 五六—六四(六) 九九—一〇七
 一九二五 ジャバの農業視察記 農家の友三三六 二〇—二三 三三七 一二—一五 三三八 一二—一五
 一九二五 濠洲の汎太平洋學術會議農学部會の概況 大日本農會報五三〇 一—一七
 一九二五 第二回汎太平洋學術會議農学部會の狀況報告 農学研究七 一—一六〇
 一九三一 (一色重夫共著) 稻及び米に関する邦文主要文献目録 農学研究一七 二八九—三五一
 一九三三 農村救済の対策 新潟県農會報三五 一—一〇—一三
 一九三五※小山榮山翁遺稿(編著) 一一—一二
 一九三六 (一色重夫 寺坂侑視共著) 稻及び米に関する邦文主要文献目録(第二集) 農学研究二六 五〇九—五六〇
 一九三八 (高橋隆平 寺坂侑視共著) 稻及び米に関する邦文主要文献目録(第三集) 農学研究二九 三八—一四〇三
 一九三九 (福島要一共著) 稻及米に関する邦文主要文献目録(第四集) 農学研究三一 四〇七—四五〇
 一九三九 小麦及小麦粉に関する主要文献目録(第二報) 農学研究三一 四五—一四八二
 一九四一 岡山県下小型石油発動機普及事情 農学研究三二 五二—七—五三八
 一九四一 (寺坂侑視 海野元太郎共著) 稻及び米に関する邦文主要文献目録(第五集) 農学研究三一 五三九—五六六
 一九四一 (岡彦一 寺坂侑視共著) 小麦及小麦粉に関する主要文献目録(第三集) 農学研究三一 五六七—五八二
 一九四二 日本農業科学技術史 科学技術一(九) 七一—八八
 一九四四 (高橋隆平共著) 大麦に関する邦文主要文献目録(第一集) 農学研究三六 五四七—五五七
 一九四六 山地農業への途 農業朝日一(四) 八一—九
 一九四六 新日本の農業と農村問題 月刊をかやま二(九) 四—六 一一
 一九四六 新日本農業と機械化の意義 機械化農業二二—一 三一—五
 一九四六 噴霧器使用始 大久保氏考案噴霧器 機械化農業二二—三 一六
 一九四六 小型石油発動機の思い出 機械化農業二二—七 一〇

(備考) 雑誌の巻数および号数はゴシック数字で、ページは普通の数字で示す。
 また単行本として発表されたものは※印で示した。

論文目録 (欧文)

1. 種子学

1913. Der anatomische Bau einiger ausländischer Hülsenfrüchte, die jetzt viel in den Handel kommen. Zeitschrift für Untersuchungen der Nahrungs- und Genussmittel. 25 (1) 1—56
1913. Anatomische Untersuchungen über japanische Coniferensamen und Verwandte. Landwirtschaftlichen Versuchs-Stationen. 81: 443—468
1917. Untersuchung der Samen der in Japan vertretenen Brassicaarten. Ein Beitrag zur genauen Feststellung der Sortenunterschiede. Ber. Ohara Inst. 1 (2) 123—150
1918. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. I. Ber. Ohara Inst. 1 (3) 261—324
1918. Ueber Nachreife und Keimung verschieden reifer Reiskörner. Ber. Ohara Inst. 1 (3) 361—387
1919. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. II. Ber. Ohara Inst. 1 (4) 399—450
1921. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. III. Ber. Ohara Inst. 2 (1) 95—131
1923. Beiträge zur Kenntnis der Keimungsphysiologie der Reissaatkörner, des Wachstums ihrer Keimpflanzen und der Beschaffenheit des Reissaatbeetes. Ber. Ohara Inst. 2 (3) 291—359
1924. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. IV. Ber. Ohara Inst. 2 (4) 397—428
1925. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. V. Ber. Ohara Inst. 2 (5) 559—595
- 1924—1925. Investigation of agricultural seeds with special reference to condition in Japan. Report of the fourth international seed testing congress in Cambridge (England). 121—124
1926. Ueber die Erhaltung der Keimkraft von Sämereien und über Trocknungsmittel. Ber. Ohara Inst. 3 (1) 147—151
1926. Ueber die Einwirkung des Kalks auf die Erhaltung der Keimkraft von Sämereien. Ber. Ohara Inst. 3 (1) 135—146
1926. Ueber die Dauer der Erhaltung der Keimkraft bei verschiedenen Samenarten in Japan. Ber. Ohara Inst. 3 (1) 127—133
1927. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. VI. Ber. Ohara Inst. 3 (4) 441—455
1928. Ueber die in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. VII. Ber. Ohara Inst. 3 (5) 457—495
1928. Ein Beitrag zur genauen Feststellung der Sortenunterschiede der in der Landwirtschaft Japans gebrauchten Samen. Compt. rend. Assoc. Intern. d'Essais de Semences. No. 6. 41—50
1929. Ueber die harten Samen von *Astragalus sinicus* L. Compt. rend. de l'Assoc. Intern. d'Essais de Semences. No. 7—8. 49—59
1929. Ueber die harten Samen von *Astragalus sinicus* L. und *Robinia pseudacacia* L. Ber. Ohara Inst. 4 (2) 289—293
1933. Vorkommen anormaler Keimlinge in den Melonen-Samen. Ber. Ohara Inst. 6 (1) 13—26
1935. (mit Y. Kasahara) Vergleichende Untersuchungen über Aschenbilder der Spelzen von *Chaetochloa*, *Panicum*, *Echinochloa*, *Saccioopsis* und *Syntherisma*. Ber. Ohara Inst. 6 (4) 491—513
1935. (mit Y. Kasahara & Y. Terasaka) Untersuchungen über Unkräuter samen Japans. I. Gramineen (I). Ber. Ohara Inst. 6 (4) 525—538
1936. Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. I. Vergleich-

- chende Untersuchungen der Samen von *Nicotiana tabacum*, 1934. Ber. Ohara Inst. 7 (2) 129—135
1936. Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. II. Vergleichende Untersuchungen der Samen von *Gossypium peruvianum*, 1934. Ber. Ohara Inst. 7 (2) 137—145
1936. Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. III. Vergleichende Untersuchungen der Samen von *Oryza sativa*, 1935. Ber. Ohara Inst. 7 (2) 147—152
1936. Untersuchungen über harte Samen von *Astragalus sinicus*, die in 17 bzw. 18 Jahre lang unter Wasser nicht gequollen hatten, besonders über die Vererbungsverhältnisse dieser Hartschaligkeit. Ber. Ohara Inst. 7 (3) 321—327
1937. (mit R. Takahashi & Y. Terasaka) Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. IV. Vergleichende Untersuchungen der Samen von *Nicotiana tabacum*, 1936. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 429—447
1938. (mit R. Takahashi & Y. Terasaka) Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. V. Vergleichende Untersuchungen der Samen von *Chrysanthemum cinerariifolium* Bocc., 1937. Ber. Ohara Inst. 8 (1) 1—9
1938. Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. II. Gramineae (2). Ber. Ohara Inst. 8 (2) 147—162
1938. (mit Y. Kasahara & Y. Terasaka) Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. III. Cyperaceae (I). Ber. Ohara Inst. 8 (2) 163—180
1938. Berichte über die Tätigkeit des Ausschusses für die Samen der warmen Klimate. VI. Vergleichende Untersuchungen der Samen von *Oryza sativa*, 1938. Ber. Ohara Inst. 8 (3) 191—197
1938. (mit R. Takahashi) Feststellung der Sortenechtheit des Saatgutes des Weizens durch Phenolfärbung. Ber. Ohara Inst. 8 (3) 211—221
1938. (mit Y. Kasahara & Y. Terasaka) Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. IV. Miscellaneen (I). Ber. Ohara Inst. 8 (3) 231—248
1941. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit des Saatgutes des Weizens durch Phenolfärbung. II. Ber. Ohara Inst. 8 (4) 305—315
1941. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit des Saatgutes der Gerste durch Phenolfärbung. Ber. Ohara Inst. 8 (4) 317—324
1941. (mit Y. Kasahara) Ursache der Phenolfärbung von Weizen- und Gerstenkörnern. Anhang: Behandlung mit Paracresol, Benzidin usw. Ber. Ohara Inst. 8 (4) 325—347
1941. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. V. Gramineae (3). Ber. Ohara Inst. 8 (4) 371—387
1941. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. VI. Compositae (I). Ber. Ohara Inst. 8 (4) 389—408
1941. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen über Unkrautsamen Japans. VII. Polygonaceae (I). Ber. Ohara Inst. 8 (4) 409—420
1942. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen über die Keimung der Unkrautsamen Japans. I. Ber. Ohara Inst. 9 (1) 14—21
1942. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen über die Keimung der Unkrautsamen Japans. II. Ber. Ohara Inst. 9 (1) 22—28

1942. (mit Y. Kasahara) Untersuchungen der Unkrautsamen Japans. VIII. Leguminosae (I). Ber. Ohara Inst. 9 (1) 1—13
1943. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit von enthülsten Reiskörnern. I. Phenolfuchsinfärbung. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 117—120
1943. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit von enthülsten Reiskörnern. II. Phenol- und Paracresolfärbung. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 121—128
1943. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit von enthülsten Reiskörnern. III. Jodjodkalifärbung. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 129—133
1943. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit von enthülsten Reiskörnern. IV. Alkaliprüfung und Schluss. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 134—140
1943. (mit Y. Kasahara) Alkaliprüfung der polierten Weissreiskörner. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 141—150
1943. (mit Y. Kasahara) Feststellung der Sortenechtheit des Weizensaatgutes durch Tyrosinfärbung. Vergleich mit Phenolfärbung. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 151—155

2. 貯 藏

1926. The storage of rice and change of its physical properties during this period. Ber. Ohara Inst. 3 (2) 153—175
1927. (mit T. Okamura) Einwirkung des kohlenensäure- und luftdichten Verschlusses auf die Reiskörner während der Aufbewahrungszeit. Proc. Imp. Acad. Japan. 3 (10) 706—708
1929. (with T. Okamura) On the effect of air-tight and carbon-dioxide upon the storage of rice. Ber. Ohara Inst. 4 (1) 1—18
1929. (mit S. Matsushima & T. Okamura) Keimkraft, Nährstoffe und B-Vitamin der im Kohlensäuren- und luftdichten Verschlusse 4 Jahre lang aufbewahrten Reiskörner. Proc. Imp. Acad. Japan. 5 (3) 159—160
- 1926-1928. Changes in the physical properties of rice due to storage. Proceedings of the Third Pan-Pacific Science Congress Tokyo. 11, 1206—1210
1930. (with T. Okamura) On the influences of various temperatures in duration of storage and various moistures of rice upon the preservation of germination power of hulled rice. Ber. Ohara Inst. 4 (3) 315—341
1930. (with T. Okamura) Germination power, analyses and vitamin-B of hulled rice stored during 4 years either air-tight or in carbon-dioxide. Ber. Ohara Inst. 4 (3) 343—348
1931. (mit T. Okamura) Versuche über die Aufbewahrung von enthülsten Reiskörnern. Einfluss von Temperatur, Wassergehalt der Reiskörner und Anwendung eines Trocknungsmittels auf die Erhaltung der Keimkraft von enthülsten Reiskörnern. Proc. Imp. Acad. Japan. 7 (8) 327—330
1931. (with T. Okamura) Storage of rice. V. On the influence of a desiccating material upon the preservation of the germinating power of hulled rice having different moisture contents and stored at different temperatures. Ber. Ohara Inst. 5 (1) 221—242
1932. (with T. Okamura) Storage of rice. VI. Physical and biochemical studies of hulled rice stored in straw bags. Ber. Ohara Inst. 5 (3) 395—406

1932. (with T. Okamura) Storage of rice. VII. On the influence of varying moisture content and germinating power upon the preservation of vitamin-B in hulled rice. Ber. Ohara Inst. 5 (3) 407—412
1932. (with T. Okamura) Storage of rice. VIII. Studies on hulled rice stored air-tight 26 and 28 years. Ber. Ohara Inst. 5 (3) 413—420
1933. (mit Y. Kasahara) Versuche bezüglich der Aufbewahrung der Sporen von Shiitake, *Cortinellus Shiitake* Schroet. Ber. Ohara Inst. 6 (1) 27—40
1934. (with T. Okamura) Storage of Rice. IX. Relation between varying moisture content and change in quality of hulled rice stored in containers air-tight as well as with carbon-dioxide. Ber. Ohara Inst. 6 (2) 149—174
1934. (with T. Okamura) Storage of rice. X. Studies on four lots of unhulled rice stored forty-six to eighty-four years in granaries. Ber. Ohara Inst. 6 (2) 175—185
1934. (mit T. Okamura) Versuch über die Aufbewahrung von enthülsten Reiskörner in einfach luftdichtem Verschlusse sowie in luftdicht abgeschlossenem Kohlensäurebehälter, zwecks Feststellung der Abhängigkeit der Qualitätsänderung vom jeweiligen Wassergehalt. Proc. Imp. Acad. 10 (8) 528—531
1934. (with T. Okamura) Storage of rice. XI. Studies on "HOSHII" stored hermetically sealed for twenty-three years on a mountain. Ber. Ohara Inst. 6 (3) 331—334
1934. (with T. Okayama) Storage of rice. XII. Storage of rice in tin containers with calcium-chloride, with special reference to the underdried product. I. Ber. Ohara Inst. 6 (3) 325—326
with special reference to the underdried product. II. Ber. Ohara Inst. 7 (1) 99—102
1936. Anwendung eines grossen Zinkbehälters mit einem Trocknungsapparat zur Aufbewahrung von unvollkommen getrocknetem Reis. Proc. Imp. Acad. Japan. 12 (3) 75—77
1936. (with S. Isshiki) Storage of rice. XIV. Removal of moisture from the air in a granary and the hulled rice stored therein by a desiccating material. Ber. Ohara Inst. 7 (2) 227—237
1936. (with Y. Terasaka) Storage of rice. XV. Comparison of calcium-oxide and calcium chloride as a desiccating material for rice stored in tin containers. Ber. Ohara Inst. 7 (3) 329—334
1937. (with T. Okamura) Storage of rice. XVI. Storage of rice in concrete silos for five years. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 471—481
1937. (with T. Okamura) Storage of rice. XVII. Comparative study of unhulled rice and hulled rice in regard to the changes of its qualities during long storage in straw bags. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 483—490
1937. (mit T. Okamura) Ueber eine fünfjährige Aufbewahrung von Reis im Betonsilo. Proc. Imp. Acad. Japan. 13 (4) 117—120; Ann. Tschechoslowakischen Akad. Landw. 12 (3) 338—343
1938. (with T. Okamura) Storage of rice. XVIII. Relation between varying moisture content and change in quality of hulled rice, with special reference to the underdried product. Ber. Ohara Inst. 8 (1) 11—34
1938. (with R. Takahashi, Y. Terasaka & S. Isshiki) Storage of rice. XIX. Removal of moisture from hulled rice by heated air. Ber. Ohara Inst. 8 (1) 35—46
1938. (with T. Okamura) Storage of rice. XX. Studies on unhulled rice stored about one hundred years in a granary. Ber. Ohara Inst. 8 (1) 47—52

3. 穀物の性状

1916. Untersuchungen über das Volumgewicht des enthülsten Reiskornes. Ber. Ohara Inst. 1 (1) 1—26
1917. Untersuchung über die Dicke der Reiskleischicht. Ber. Ohara Inst. 1 (2) 219—229
1927. (mit T. Okamura) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. I. Die braun gefärbten enthülsten Reiskörner "Tschamai". Ber. Ohara Inst. 3 (4) 405—419
1929. (mit T. Okamura) Vergleichende Untersuchungen der physikalischen Eigenschaften des enthülsten (Genmai) und des bespelzten Reiskornes (Momimai). I. Vergleich der Hygroskopizität des enthülsten, des bespelzten Reiskornes und der Spelze. Ber. Ohara Inst. 4 (2) 127—146
1929. (mit T. Okamura) Vergleichende Untersuchungen der physikalischen Eigenschaften des enthülsten (Genmai) und des bespelzten Reiskornes (Momimai). II. Trocknungsversuche des enthülsten, des bespelzten Reiskornes und der Spelze. Ber. Ohara Inst. 4 (2) 147—162
1929. (mit T. Okamura) Vergleichende Untersuchungen der physikalischen Eigenschaften des enthülsten (Genmai) und des bespelzten Reiskornes (Momimai). III. Vergleich der Härte des enthülsten und bespelzten Reiskornes, während der Trocknungszeit. Ber. Ohara Inst. 4 (2) 163—171
1929. (mit T. Okamura) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. II. Entstehung der braun gefärbten enthülsten Reiskörner "Tschamai". Ber. Ohara Inst. 4 (2) 173—180
1930. (mit T. Okamura) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. III. Über die grün gefärbten enthülsten Reiskörner "Aomai". Ber. Ohara Inst. 4 (4—5) 413—427
1930. (mit T. Okamura) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. IV. Der durch die Feuchtigkeitzunahme verursachte Querriss (Doware) des Reiskornes. Ber. Ohara Inst. 4 (4—5) 429—446
1930. (mit T. Okamura) Vergleichende Untersuchungen der physikalischen Eigenschaften des enthülsten (Genmai) und bespelzten Reiskornes (Momimai). IV. Vergleich der quantitativen Eigenschaften des bespelzten, des enthülsten Reiskornes und der Spelze. Ber. Ohara Inst. 4 (4—5) 511—527
1931. (mit T. Okamura) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. V. Ueber die Entfärbung der grün gefärbten enthülsten Reiskörner "Aomai". Ber. Ohara Inst. 5 (1) 57—66
1932. (mit T. Okamura) Ueber die Beziehung zwischen der Temperatur sowie dem Wassergehalt der Reiskörner einerseits und der Feuchtigkeit der Zwischenräume der Körner andererseits. Ber. Ohara Inst. 5 (3) 375—393
1934. (mit T. Okamura) Physikalische und biochemische Studien über die Kornqualitäten der in Strohsäcken einige Jahre aufbewahrten enthülsten Reiskörner. Proc. Imp. Acad. 10 (8) 532—535
1936. Versuche mit einfachem Trocknungsapparat zur Aufbewahrung von unvollkommen, getrocknetem Reis in Japan. Mitt. d. Tschechoslowakischen Akad. Landw. 12 (4—5) 284—286
1936. (mit R. Takahashi & Y. Terasaka) Untersuchung und Bewertung von Gersten, Weizen, Sojabohnen und Rapssamen. Ber. Ohara Inst. 7 (3) 335—358
1941. Untersuchung und Bewertung von Gerste, Weizen, Sojabohnen und Rapssamen. II. Zusatz: Reis und Mais. Ber. Ohara Inst. 8 (4) 349—370
1943. (mit Y. Terasaka & M. Uno) Untersuchungen der verschiedenen Reiskörner geringerer Qualität. VI. Die Reiskörner der durch die Dürre stark beschädigten Missernten. Ber. Ohara Inst. 9 (2) 156—169

4. 育 種 遺 伝

1913. Untersuchungen an Weizen-und Dinkelähren als Beitrag zur genauen Charakterisierung der Sorten. Landwirtschaftliche Jahrbücher. 45: 713—817
1927. Ueber die Ergebnisse der Pedigree-Zucht der Semisterilen Reispflanzen. Proc. Imp. Acad. Japan 3 (2) 97—101 & Ber. Ohara Inst. 3 (3) 275—289
1927. (mit M. Takeda & S. Fujimoto) Untersuchungen über die Weiss-Gestreifte Reispflanze (Shimaine). Ber. Ohara Inst. 3 (3) 291—317
1927. (mit S. Fujimoto) Spontane Entstehung einer missgestalteten Reispflanze "Magatamaine". Ber. Ohara Inst. 3 (4) 421—424
1932. (mit T. Okamura, S. Isshiki & Y. Kasahara) Untersuchungen über "Photoperiodismus" der Reispflanzen. I. Ber. Ohara Inst. 5 (2) 243—280
1933. (mit S. Isshiki) Spontane Entstehung von zwei missgestalteten Reispflanzen und ihre Vererbungsverhältnisse. Ber. Ohara Inst. 6 (1) 1—12
1935. (mit S. Isshiki) Vorkommen von abnormen Reiskörnern, die entweder keimlos sind oder zwei Keime besitzen. Ber. Ohara Inst. 6 (4) 515—524
1937. (S. Isshiki & Y. Terasaka) Untersuchungen über die Ährenkeimung des Weizens, speziell in den klimatischen Verhältnissen Japans I. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 449—455
1937. (R. Takahashi & Y. Terasaka) Untersuchungen über die Ährenkeimung des Weizens, speziell in den klimatischen Verhältnissen Japans II. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 457—469
1938. (mit R. Takahashi & Y. Terasaka) Die Jarowisation des Weizens, speziell in Bezug auf den praktischen Wert des Verfahrens in den klimatischen Verhältnissen Südjapans. Ber. Ohara Inst. 8 (3) 199—209
1938. (mit R. Takahashi) Untersuchungen über die Ährenkeimung des Weizens, speziell in den klimatischen Verhältnissen Japans III. Ber. Ohara Inst. 8 (3) 223—230

5. 作物学栽培一般

1930. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen der Wassertemperatur und dem Wachstum der Reispflanzen. I. Ber. Ohara Inst. 4 (3) 395—411
1931. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen Wassertemperatur und Wachstum der Reispflanzen. II. Ber. Ohara Inst. 5 (1) 67—85
1932. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen der Wassertemperatur und dem Wachstum der Reispflanzen. III. Schädlicher Einfluss der Wassertemperatur auf das Wachstum der unter Wasser stehenden Reispflanzen. Ber. Ohara Inst. 5 (3) 347—374
1934. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen der Wassertemperatur und dem Wachstum der Reispflanzen. IV. Schädlicher Einfluss der Wassertemperatur auf den Körnerertrag der unter Wasser stehenden Reispflanzen. Ber. Ohara Inst. 6 (2) 187—204
1934. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen der Wassertemperatur und dem Wachstum der Reispflanzen. V. Ueber den graduellen Unterschied der Schädigung, der die Reispflanzen bei Ueberschwemmung mit klarem oder mit trübem Wasser. Ber. Ohara Inst. 6 (2) 205—209

1934. (mit T. Okamura) Beziehung zwischen der Wassertemperatur und dem Wachstum der Reispflanzen. VI. Ursache des Absterbens der Reispflanze, die eine Zeitlang unter Wasser gestanden hat. Ber. Ohara Inst. 6 (2) 211—218

6. 雜

1932. (mit S. Isshiki) Literatur-Verzeichnis über Reis und Reiskultur. I. Ber Ohara Inst. 5 (2) 325—346
1937. (mit R. Takahashi, Y. Terasaka & S. Isshiki) Literatur-Verzeichnis über Reis und Reiskultur. II. Ber. Ohara Inst. 7 (4) 573—594
1941. (mit H. Oka) Literatur-Verzeichnis über Reis und Reiskultur. III. Ber. Ohara Inst. 8 (4) 489—505

備考 簡単のため雑誌名を次のように略記した。

Ber. Ohara Inst. = Brichte des Ohara Instituts für landwirtschaftliche Forschungen

Proc. Imp. Acad. Japan = Proceedings of the Imperial Academy of Japan.